

# 【 第15回ジュニアアジア選手権 】

2016年7月22日～8月1日

開催国:ヨルダン

## 試合結果報告

7 月 27 日 ( 水 )

JAPAN	VS	IRAQ
<b>15</b>	前半	<b>11</b>
<b>15</b>	後半	<b>13</b>
	第一延長	
	第二延長	
<b>30</b>	合計	<b>24</b>

### 個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	袈屋 竜流			0
2	藤村 勇希	2		2
3	園田 涼太			0
4	康本 侃司	1		1
5	田里 亮稀	1		1
6	小澤 基	1		1
7	伊舎堂 博武	2	3	5
8	原田 竜汰		4	4
9	大谷 由岐也			0
10	三重 樹弥		3	3
11	安平 拓馬			0
12	羽諸 大雅			0
13	牧野 イサム	4	2	6
14	北詰 明未	1	1	2
15	山田 信也	2	1	3
16	前原 大輝			0
17	川上 勝太			0
18	中田 凌河	1	1	2
				0
	<b>合計</b>	15	15	30

試合結果

### 戦評

ジュニアアジア選手権のメインラウンド第二戦の相手はイラク。日本のスローオフで試合は始まり、牧野のミドルシュートで先制するが、イラクNo.11の多彩なプレーで逆転を許す。その後は一進一退の攻防を繰り返すが、日本はイラクのミスに速攻につなげ、山田、牧野、北詰で3連取し一歩抜け出す。前半終了間際にも、牧野のカットイン、伊舎堂のミドルシュートで加点し、15対11の4点リードで前半を終えた。

後半が始まっても日本の勢いは止まらず、積極的なDFからイラクのミスを探し、3連取しリードを広げる。中盤に入ると、イラクはNo.11の個人技、日本は原田と牧野のクロスからのミドル、三重から山田へのDFの股下を通すポストパスなどのコンビプレーで得点を奪う。27対18とリードした状態で残り10分を迎えたが、そこからイラクGKのファインセーブにより点差を広げることができないが、最後までDFの足を止めずに守り続け、最後は牧野、北詰で2連取し、30対24で勝利を収めた。

DFでは園田が積極的に接触し、OFでは藤村が体を生かしたプレーでイラクの退場を誘うなど、途中出場した選手が気持ちの入った強気のプレーを見せ、チームに勢いをもたらした。

明後日のイラン戦に勝てばメインラウンドのグループ2位以内が確定し、準決勝進出を果たす。今日の試合の勢いを次戦につなげていきたい。

報告記入者 :

寺脇 将